

<地域力グループ活動>

西陵「花と緑で潤いのある街づくり」 花苗を育てる

5月
～8月

<環境美化グループ>

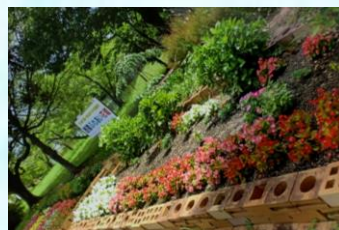
5月に種まき、6月にピット苗のポットに植え替え、ペコニア、サルビア、ガゼニア、日々草、松葉牡丹、ケイトウ等1,900株の花苗をつくりました。

今回、ゆりの台から3名の方が初参加されました。現在、下記の花壇に花苗を植えこみ中です。

- ①緑地帯の中央花壇
- ②みずの坂南公園花壇
- ③ふれあいかん東緑地帯花壇
- ④みずの坂幹線道路歩道の花壇



②



③

NHK 朝のラジオ体操

7/20
～31

<高齢者支援グループ>

夏休みに入り、7月20日から31日までの12日間、ふれあいかん北駐車場でNHK朝のラジオ体操を実施しました。天気にも恵まれ、毎日多くの方にご参加いただきありがとうございました。延べ約1,099名、一日平均90人以上の目標を達成できました。

はぎの台郵便局から出席カードとタオルをご提供いただき、粗品を子供には毎日、大人には2回お渡しでき、大変喜んでもらいました。皆様のご協力ありがとうございました。



要介護者にならないために

6/18

<高齢者支援グループ>

「介護の世話にならずに健康で長生きを」誰もが望むことです。

今回、理学療法士の中村翔氏による指導と水野包括支援センター職員さんの協力の下、40名が参加して行われました。

普段何気なく動かしている「体」ですが、これは骨や筋肉、関節の他、神経などの運動器が連携して動いているからです。運動器のどこか一つでも障害されると、体はうまく動かなくなるとのこと。

運動器の機能維持や向上させる運動を実技を交えて説明していただきました。



普通救命(AED)講習会

7/28

<防災減災グループ>

心肺蘇生法とAEDの取扱いを学ぶ基礎コースで37名が受講しました。

突然のけがや病気に見舞われ、救急車を呼んでも、到着までに瀬戸市内で平均7分を要するとのこと。急を要する心肺停止などの場合、その7分が「生死を分ける、後遺症に影響する」時間となる可能性があります。そばに居合わせた人が、心肺蘇生法を始めて、救急隊に引継げたなら…。

いざという場合に備えて、救命の知識と技術を覚えておきたいものです。



ふれあいかん(センター)コーナー

◎新規職員のお知らせ

本年6月より、新たに中西良夫さんを職員にお迎えしました。どうぞよろしくお願いします。

◎クーリングシェルター(避暑施設)について

ひととき暑い今年の夏、避暑施設としてご利用いただけるように談笑室を開放しています。ふれあいかんの開館時にご利用いただけます(期間は10月31日まで)。

◎ふれあいかんのホームページで、当日分の部屋利用状況を確認できます

(当日、予約が入っている場合があります) <http://www.gc-net.jp/seiryoyotei.html>



納涼

2024.8.3



祭 夏まつり

西陵地域交流センター(ふれあいかん)

「納涼夏まつり」の8月3日、この日もやはり発せられた「熱中症警戒アラート」。「外出は控えて外での運動は中止を」などと呼び掛けられる中にもかかわらず、大勢の子どもたちや家族連れが会場に集まってくれました。

オープニングのステージは、日頃ふれあいかんで活動している3つサークルが和太鼓やダンスを披露。メインイベントの盆踊りに向けてムードを盛り上げました。

盆踊りの曲目は、新旧の定番曲「ダンシング・ヒーロー」や「炭坑節」、当地ゆかりの「招き猫音頭」「瀬戸音頭」など全8曲。弾むリズムと太鼓に合わせて楽しそうに踊る皆さんの様子が心に残りました。

盆踊りは住民相互の交流の輪を広げる有効な手段になると改めて実感しました。

